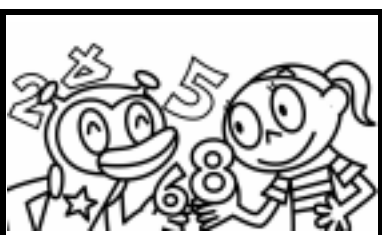


算数 学習相談		学研教育情報資料センター 小 / 算数 / 5年 / 数と計算 / 分数と小数 / 理解シート
------------	---	---

1本の数直線上に，整数・小数・分数を表すことができるの



3つとも，数直線上に表すことができるんだよ。いちばん小さい目もりがどんな小数になっているかを調べるんだよ。分数は小数に直した方が表しやすいよ。



下の整数・小数・分数を数直線上に表し，小さい方から順にならべましょう。

$$\left\{ \frac{4}{5}, 1, 0.4, 1\frac{7}{10}, 2, 2\frac{2}{5} \right\}$$

- ① 下の数直線のいちばん小さい目もりが表す小数の大きさを調べます。
0～1の間が10に区切っているから， $1 \div 10 = 0.1$ で，0.1を表しています。
- ② 分数を小数に直します。

$$\frac{4}{5} = 4 \div 5 = 0.8$$

$$2\frac{2}{5} = 2 + \frac{2}{5} = 2 + 2 \div 5$$

$$= 2 + 0.4 = 2.4$$

$$1\frac{7}{10} = 1 + \frac{7}{10} = 1 + 0.7 = 1.7$$

- ③ 下の数直線上に，それぞれ数を表します。



- ④ 小さい方から順にならべます。

ポイント▶ 数直線は，右の方が大きく，左の方が小さくなります。

$$\left\{ 0.4, \frac{4}{5}, 1, 1\frac{7}{10}, 2, 2\frac{2}{5} \right\}$$



整数・小数・分数も1本の数直線に表せるのよ。